

# 1 - 7 敷地内の緑化

## (1) 敷地内の緑化

・敷地内の空地は、適切な緑化を行うことなどにより、緑豊かなものとする。

景観区：すべて

・周辺景観と融和し、良好な景観の形成及び周辺環境との調和が図れるよう、樹種の構成及び樹木の配置を考慮した植栽を行う。

景観区：すべて

### 【解説】

敷地内の緑は、まちなみにうるおいを与えるとともに、都市環境を保全・改善するために重要な要素です。特に大規模建築物や駐車場の周囲に配された緑は、景観の阻害要素を遮蔽するだけでなく、まちなみ景観の魅力を高める効果があります。

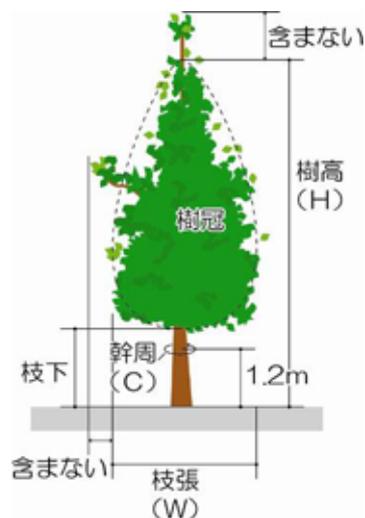
樹木の配置は、緑に囲まれた景観を形成するため、通りからの視線に配慮しながら検討します。

景観阻害要素となる恐れのある大規模建築物などや駐車場の周囲については、道路沿いを中心に中高木植栽などによる遮蔽的な植栽を行います。

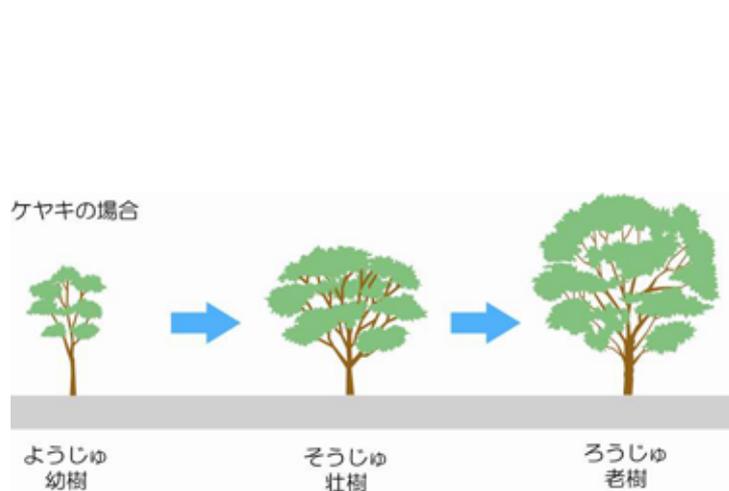
樹種については、周辺地域の既存の植生を考慮し、周辺の景観との調和が得られるよう配慮します。個々の樹木の性質を踏まえ、季節の変化や樹木などの成長を考慮するとともに、建築物などの規模に合った樹高や樹冠のボリューム、複数の樹種の組み合わせを検討します。

竣工時はもちろんのこと、10年後、20年後、50年後と、長い時間の経過を含めた展望に立ち、樹齢の構成を考える必要があります。

< 寸法規格基準の測定法 >



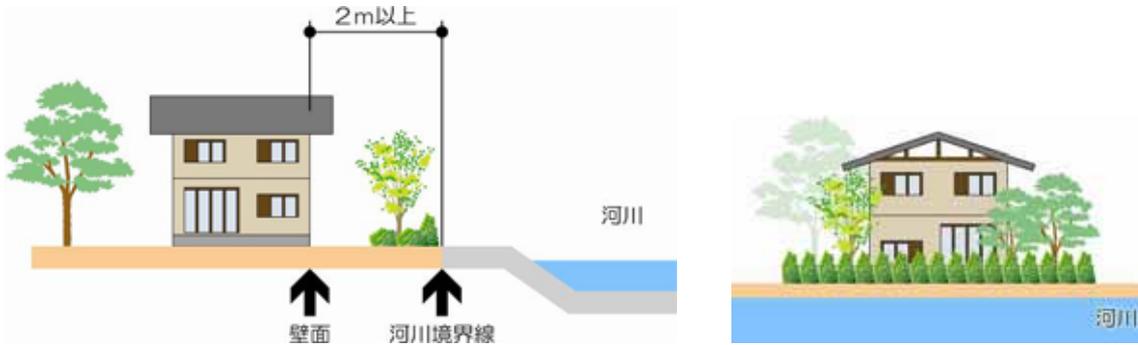
< 樹形の変遷の例 >



出典：造園施行管理技術編（監修／国土交通省都市局公園緑地課）

### 河川に面した敷地の緑化

河川に面した敷地は、敷地協会から極力後退するとともに、積極的に緑化します。周辺の自然環境との調和に配慮し、低、中木を中心に植栽を行います。



河川に面した空地に花木の植栽を行うことで、緑豊かな景観を創出した例



河川側の敷地境界に中・低木、生垣等により緑化することで、まちなみ景観にうるおいを与えている例

### 道路に面した敷地の緑化

道路に面した敷地には、積極的に生垣や前栽を設けます。

特に工場などの大規模な建築物などの道路に面した敷地には、長大な壁面や連続する塀垣などによる圧迫感や閉鎖感の緩和、うるおいのあるまちなみ景観を形成に配慮し、適正な緑化を行います。



住宅地において、道路側に生垣や前栽の緑を配置することで、まちなみ景観にうるおいを与えている例

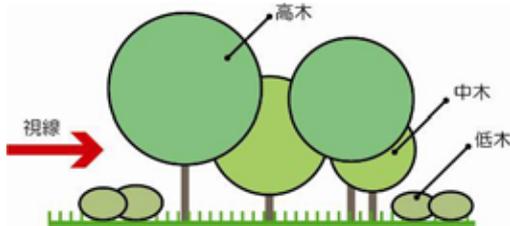


大規模な工場の道路に面する敷地に植栽を行うことで、建築物の圧迫感を和らげ、まちなみ景観にうるおいを与えている例

## 景観阻害要素の遮蔽

駐車場、駐輪場、ゴミ集積所など景観阻害要素になる恐れのある施設については、その周辺に遮蔽効果の高い緑化を行います。

### < 遮蔽を主体とする樹林の垂直構成 >



出典：造園施行管理技術編  
(監修/国土交通省都市局公園緑地課)



住宅地内の商業施設において、駐車場の周囲に植栽を行い、車を遮蔽することで落ち着いたある住宅地景観と調和させている例

- ・ 汀線、湖岸及び湖岸道路から後退してできる空地には、特に中高木または生垣による緑化に努める。ただし、港湾施設、造船所などにおいて、機能上建築物と一体となって湖に接して設ける空地については、この限りでない。

景観区：すべて

### 【解説】

汀線、湖岸及び湖岸道路から後退してできる空地には、湖岸に緑の潤いを与えるとともに、湖辺に建つ建築物などと湖との景観の調和を図るため、中高木や生垣による遮蔽性の高い緑化に努めます。

また、敷地前面に街路樹や湖岸緑地などがある場合は、これらと調和した緑化、一体的な緑化を行います。

特に景観形成上重要な琵琶湖に面した敷地の場合は、高木を中心に 3 列程度の厚みのある植栽を行うことが望まれます。

ただし、港湾施設や造船所など、その機能上、建築物と一体となって確保することが必要な空地については、フラワーポットなどによる緑化が望まれます。



湖側緑地に面した敷地を緑化し、湖岸の親水空間（公共空間）と一体となった緑豊かな水辺景観を形成している例

< 植栽密度及び間隔例 >

用途	樹高	植栽間隔
目隠し植栽	H = 3 ~ 4 m	1 本 / m 程度
	H = 5 ~ 6 m	0.5 本 / m 程度
園内の並木など		4 ~ 5 m 程度

出典：環境・景観デザイン百科（彰国社編）

( 2 ) 樹高

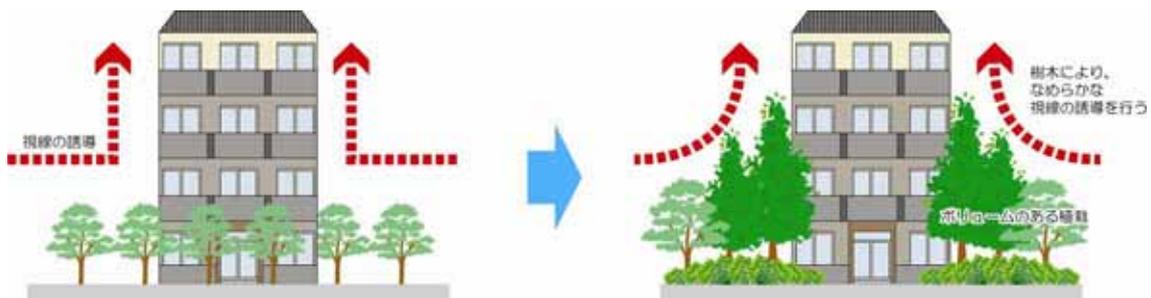
- ・大規模建築物などにあっては、周辺に与える威圧感、圧迫感、及び突出感を和らげるよう、その高さを考慮した樹種及び樹木を選び、その植栽位置を考慮する。

景観区：すべて

【解 説】

周辺景観への影響を緩和するため、敷地内の建築物などの高さに応じて植栽を工夫します。

特に突出した印象を与える恐れのある建築物などについては、周辺に植栽した樹木の高さを、建築物から遠ざかるに従って低くすることで、滑らかな視線誘導を行い、その印象を緩和するなどの工夫が求められます。



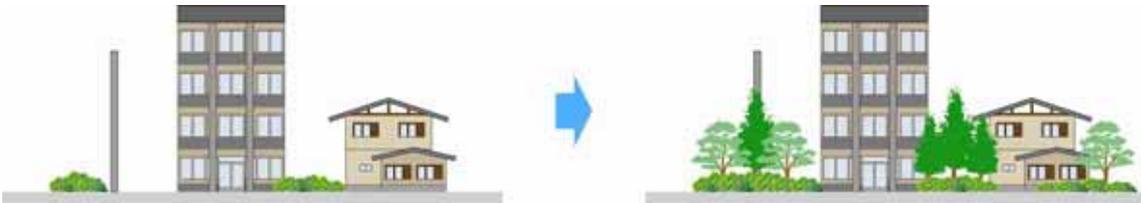
### (3) 緑化の割合

- ・大規模建築物など又はそれ以外の建築物の敷地の面積が 0.3 ヘクタール以上であるものにあつては、原則として、それらの敷地の面積の 20% 以上の敷地を緑化する。ただし、都市計画法第 8 条に規定する用途地域内にあつては、この限りでない。

景観区： すべて

#### 【解説】

敷地の境界部以外の場所についても、積極的に緑化を進め、周辺景観との調和を図るとともに、質の高い、緑豊かな景観の形成に配慮します。



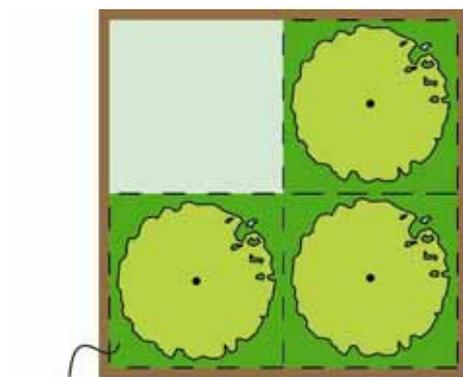
#### < 緑化面積の算定基準 >

緑化面積は、次に掲げるものの面積の合計とします。ただしそれぞれの面積が重複する場合は、どちらか一方の面積を緑化面積とします。

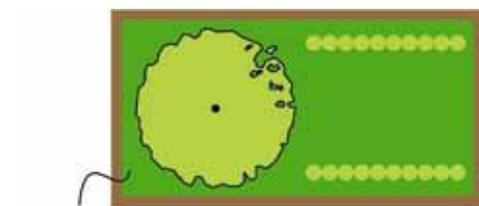
植栽は道路に面した部分に重点的に配置するものとします。

ア 樹木が生育する  $10\text{m}^2$  以上の区画された土地であつて、次の基準の一の基準に適合するもの、および樹冠の面積の大きさから見て同等と認められるもの。

- 1)  $10\text{m}^2$  あたり高木が 1 本以上。
- 2)  $20\text{m}^2$  あたり高木が 1 本以上、及び低木が 20 本以上。



この場合の緑化面積  $30\text{m}^2$



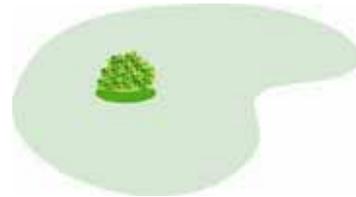
この場合の緑化面積  $20\text{m}^2$

- ・都市計画法第 8 条に規定する用途地域 : 都市の環境保全や利便の増進のために、地域における建物の用途や形態（建ぺい率、容積率）などに一定の制限を行う地域。住居・商業・準工業・工業の各地域に大別される。

- イ 高木又は低木が単独で植栽された土地で、高木にあつては1本当たり $10\text{m}^2$ 、低木にあつては $0.5\text{m}^2$ を植栽された土地の面積。ただし、樹冠面積がそれぞれの土地の面積を超えるものにあつては樹冠面積を緑化面積とします。

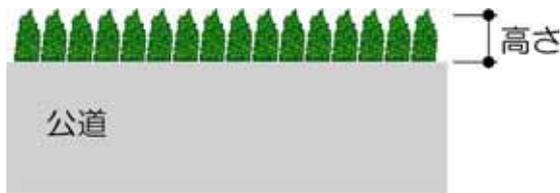


この場合の緑化面積は、  
高木1本当たり $10\text{m}^2$



この場合の緑化面積は、  
低木1株当たり $0.5\text{m}^2$

- ウ 低木又は芝その他の地被植物（除草などの手入れがなされる見込みのものに限る）で覆われている土地。ただし、生け垣であつて公道に接する部分については、立面積を緑化面積とします。



この場合の緑化面積は、  
生垣の高さ×長さ



この場合の緑化面積は、  
生垣の幅×長さ

- エ 花壇で、維持管理が十分される見込みのもの。
- オ のり面の保護のために造成された雑草地で、維持管理が十分される見込みのもの。
- カ 噴水、水流、池、滝、築山、彫像、灯籠、石組、飛石、日陰棚などの修景施設。

・ 高木 : 成木に達したときの高さが4メートル以上で植栽時2メートル以上の樹木をいう。  
・ 低木 : 高木以外の樹木をいう。以下同じ。

#### 緑化面積の算定時の注意

- ・緑化面積は、公道に接する場合の生垣をのぞき、水平投影面積とします。
- ・緑化面積に占める高木の割合は30%以上を標準とします。敷地条件などによりやむを得ない場合はこの限りではありません。
- ・バルコニー、出窓などの下部（水平投影部分）の植栽については、緑化面積に算入しません。
- ・つるものは低木として扱います。
- ・樹種が高木でも、低く刈り込んで使用する場合は低木として、また、生け垣として使用する場合は生け垣として扱います。
- ・調整池で護岸を植栽などにより修景を行わない場合は池とは見なしません。また、調整池で常時は水が無く芝生地などとする場合で維持管理が十分なされる見込みのものにあっては緑地として扱います。
- ・苗木床、野菜畑、温室・ビニールハウスなどは植栽された土地とは見なしません。

#### (4) 自然植生への配慮

・植栽は、自然植生を考慮し、周辺環境と調和する樹種とする。

景観区： すべて

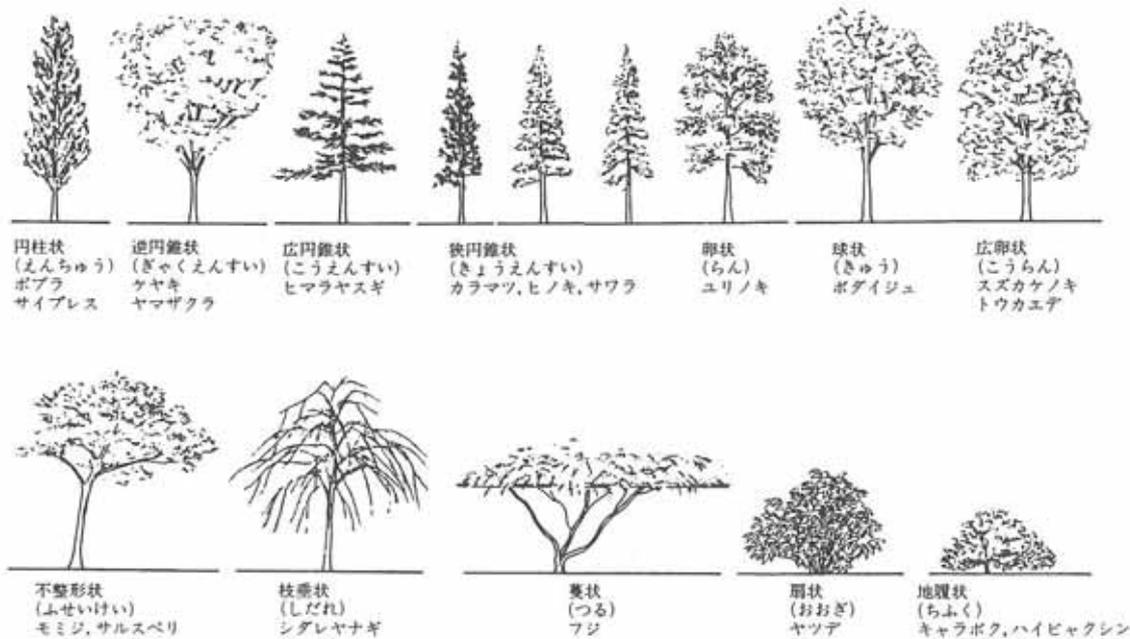
#### 【解説】

自然植生は、一般にその地域の自然条件に最も適した植物が長年にわたり安定的に成育しているものであり、その地域の景観を特色づけているものと考えられます。

緑化に用いる樹種は、原則としてその地域の自然植生を目安に選定します。

樹形（円筒形・円錐形・球形・円蓋系・卵形・盃形など）や樹高、樹性（陰陽性、耐寒性、移植難易度など）などを十分考慮して、バランスのとれた植栽を行います。

#### < 樹形（樹冠）の基本形 >



出典：造園施行管理技術編（監修 / 国土交通省都市局公園緑地課）

・ 陰 陽 性 : 樹木の光に対する要求性に関する性質。  
陰樹とは、光に対する要求性が比較的低い樹木のこと。対立する語に陽樹（生育に最低限必要な光合成量が比較的多いタイプの樹木）がある。

< 一般的に使用される緑化木、造園樹木で滋賀県内に生育可能なものの例 >

(琵琶湖景観形成地域基準 解説 / 滋賀県より)

凡例 常：常緑樹・落：落葉樹・広：広葉樹・針：針葉樹・高：高木・低：低木  
 ：陽樹・ ：陰樹・ ：中庸樹

難：移植困難・易：移植容易・中：移植中庸

樹木の特徴は、原則として造園施行管理技術編（監修 / 国土交通省都市局公園緑地課）による。

但し下線の樹木の特徴は緑化樹木ガイドブック（財団法人建設物価調査会）による。

樹種名	科名	常落	広針	高木低木	樹高	陰陽度	生長度	耐煙性	耐潮性	乾湿性	移植難易	機能的・美的特性	摘要
アオキ	みずき科	常	広	低	2~3		速	強	強	中	易	実物,食餌植物	雌雄異株
アオギリ	あおぎり科	落	広	高	15		速	強	強	中	易	緑陰樹	大木の移植可能中国原産
アカマツ	まつ科	常	針	高	30		遅	弱	弱	乾	中	食餌植物	マツクイ虫の害大
アキニレ	にれ科	落	広	高	15		やや遅	強	強	湿	中	緑陰樹	
アケビ	あけび科	落	蔓						中	中		パーゴラ、垣根(植栽密度2~4株/10㎡)	雌雄同株だが他花受粉アケビの他にミツバアケビがあり、同様に利用
アジサイ	ゆきのした科	落	広	低	2		速	中	弱	湿	易	花木	
アセビ	つつじ科	常	広	低	2~5		遅	強	中	乾	中	花木,生垣	有毒で植物柵内に植栽
アベリア	すいかずら科	常	広	低	1~5		速	強	強	乾	易	花木,生垣,刈込物	
アラカシ	ぶな科	常	広	高	10~20		速	強	中	中	中	生垣	
イイギリ	いじり科	落	広	高	10		速	中	中	中	易	実物緑陰,食餌植物,樹肌が美しい	雌雄異株
イタリヤマナラシ (イタリアボブラ)	やなぎ科	落	広	高	15~25		速	強	中	湿	易		雌雄異株 中央アジア原産
イチョウ	いちょう科	落	針	高	30		速	強	中	中	易	緑陰,紅葉,食餌植物	大木の移植可能,雌雄異株,中国原産
イヌツゲ	もちのき科	常	広	高	10		遅	強	強	中	中	生垣,曲幹,刈込,トピアリー,食餌植物	陽地に耐える 雌雄異株
イヌマキ	まき科	常	針	高	5~10		遅	中	強	湿	中	生垣,曲幹,刈込食餌植物	雌雄異株
イロハカエデ (イロハモミジ・ヤマモミジ)	かえで科	落	広	高	10		速	弱	弱	湿	易	緑陰,斜幹,紅葉観賞	別名イロハモミジ,ヤマモミジ,変種にベニシダレ,アオシダレ,ノムラ
ウバメガシ	ぶな科	常	広	高	15		遅	強	強	中	難	生垣,斜幹,刈込物	大気汚染に耐える やや日陰に耐える
ウメ	ばら科	落	広	高	2~10		遅	中	強	中	易	斜幹,刈込物,花木(花色白桃赤),食餌植物	変種にフングム,コウバイなどあり
エゴノキ	えこのき科	落	広	高	7~8		中	中	強	中	中	花木,食餌植物	半陰地にも生育,果皮有毒
エニシダ	まめ科	落	広	低	1~3		速	強	強	中	難	花木	海岸植栽樹,欧州原産
エノキ	にれ科	落	広	高	20		遅	中	強	中	やや易	緑陰樹,食餌植物	大気汚染に弱い。
エンジュ	まめ科	落	広	高	10	0	速	強	中	中	中	花木	中国原産
オオデマリ	すいかずら科	落	広	低	1.5~3		遅		中	中	易	公園・緑地、庭園、建物周り、花木、添景樹など。花木(白)	日陰地では花付きがわるい春に強剪定を行うと花がみられない
カイズカイブキ	ひのき科	常	針	高	10		速	強	強	乾	中	刈込物,生垣	赤星病中間寄生,独特な樹形
カクレミノ	うこぎ科	常	広	高	10		遅	強	強	湿	難		
カツラ	かつら科	落	広	高	25		速	中	中	湿	中	新葉が美しい	乾燥地にも耐える,変種シダレカツラあり,雌雄異株
カナメモチ	ばら科	常	広	高	10		速	強	強	中	易	曲幹,刈込物,生垣	陽地に耐える
カヤ	いちい科	常	針	高	30		遅	強	強	湿	中	生垣,食餌植物	深根性,雌雄異株,ズンド物とする
カロリナボブラ	やなぎ科	落	広	高	20		速	強	強	湿	易		早急緑化用,工場緑化に適す。

- ・ 耐煙性：樹木の排気ガスや大気汚染に対する性質。
- ・ 耐潮性：樹木の潮風などに対する性質。

樹種名	科名	常落	広針	高木低木	樹高	陰陽度	生長度	耐煙性	耐潮性	乾湿性	移植難易	機能的・美的特性	摘要
カンチク	いね科	竹		高	5		速	強	中	中	易	庭園、公園・緑地、生垣、根締め、景観樹など。	光条件の耐性が大きく日陰地にも耐える 刈込みに耐える
キヅタ	うこぎ科	常	蔓				中	強	強	中	易	壁体、樹幹にからまる	日射に耐える
キャラボク	いちい科	常	針	低	2~3		遅	中	中	中	中	曲幹刈込物、生垣	陽地に耐える 雌雄異株
キョウチクトウ	きょうちくとう科	常	広	高	3~5		速	強	強	車	難	花木(花色赤、桃、白)	大気汚染に耐える インドペルシャ原産
キンモクセイ	もくせい科	常	広	高	10		遅	中	中	中	中	生垣、刈込物、花木	日光地に耐える、芳香あり 中国原産、雌雄異株
クスノキ	くすのき科	常	広	高	35		速	強	強	中	中	食餌植物	東京辺苗木は防寒
クチナシ	あかね科	常	広	低	1.5~2.0		速	強	中	中	易	花木、生垣、食餌植物、刈込物	陰地に耐える、ヤエクチナシ について品質規格あり
クスギ	ぶな科	落	広	高	15		速	中	中	湿	難	食餌植物	やや日陰に耐える
クマザサ	いね科	笹		低	0.5~1.5		速	強	中	乾	易	地被(高さ0.5~1.0m 植栽密度25株/m <sup>2</sup> )	日光地にも耐える
クロガネモチ	もちのき科	常	広	高	10~15		遅	強	強	中	易	実物、食餌植物	陽地に耐える 大木移植可能、雌雄異株
クロチク	いね科	竹		高	5		速		中	中	易	庭園、建物周り、景観樹、生垣など。	ハチクの黒化形
クロマツ	まつ科	常	針	高	35		速	中	強	乾	中	食餌植物、防潮林曲幹	マツクイ虫の害大、 大木移植可能
ゲッケイジュ	くすのき科	常	広	高	10		速	強	強	中	難		武者立のもの多し 地中海原産、雌雄異株
ケヤキ	にれ科	落	広	高	30		速	弱	中	中	中	緑陰樹	大木の移植可能
コウヤマキ	こうやまき科	常	針	高	30~40		中	中	中	湿	難		壮年後陽樹、樹形美しい
コデマリ	ばら科	落	広	低	1~2		速				易	生垣、花木	中国原産
コナラ	ぶな科	落	広	高	15		中	弱	弱	乾	中	食餌植物	やや日陰に耐える。
コノデカシワ	ひのき科	常	針	高	10		遅	中	中	湿	難	生垣	雪国では雪囲い必要 中国西北部原産
コブシ	もくれん科	落	広	高	10~15		速	中	中	湿	難	花木	近縁にシデコブシあり
ゴヨウマツ	まつ科	常	針	高	20		遅	中	中	乾	難	曲幹	近似にヒメコマツあり
サザンカ	つばき科	常	広	高	10		遅	中	強	中	易	花木(花色多し)、生垣、食餌植物	
サツキツツジ	つつじ科	常	広	低	0.5~1.0		中	強	中	中	易	花木(花色多し)、生垣、地被(15cmほどに刈込可)	秋冬の紅葉が美しい
サトザクラ	ばら科	落	広	高	5~10		速	中	弱	中	中	花木	品種に松月、普賢象、関山などあり、大枝剪定は避ける
サルスベリ	みそはぎ科	落	広	高	6~7		中	中	強	乾	中	花木(花色は赤、桃、白)、斜幹	大木の移植可能、花が白いの はシロバナサルスベリ、中国南部原産
サワグルミ	くるみ科	落	広	高	15		速		中	湿	易	公園・緑地、水辺、街路樹(シナサワグルミ)、景観樹など。	湿地には強いが乾燥地での生育は良くない、テッポウムシやコウモリガの害に注意、シナサワグルミは中国原産
サワラ	ひのき科	常	針	高	30		速	中	中	中	易	景観樹、生垣、刈込物、食餌植物	ヒヨクヒバ、シノブシバ、ヒムロ、園芸品種
サンゴジュ	すいかずら科	常	広	高	10		速	強	強	湿	易	生垣、刈込物、食餌植物	日光地に耐える
シダレザクラ	ばら科	落	広	高	5		速		弱	中	難	公園・緑地、庭園、花木 枝が下垂する。花木(白、淡紅、紅色、一重、八重)	
シダレヤナギ	やなぎ科	落	広	高	15		速	強	強	湿	易		雌雄異株、中国原産
シモクレン	もくれん科	落	広	高	5				弱	中	易	花木(濃紫)・芳香。庭園、公園・緑地、花木、景観樹	
シャクナゲ	ツツジ科	常	広	低	1.5~3		遅		弱	中	やや強	公園・緑地、庭園、建物周り、花木、添景樹、景観樹	種や品種により、樹高や花の大きさ、花色などに差異がある
シャリンバイ	ばら科	常	広	低	2		遅	強	強	中	難	刈込物、花木	マルバシャリンバイはやや寝性
シュロ	やし科	常		高	10~15		遅	強	強	中	易	食餌植物	雌雄異株
シラカシ	ぶな科	常	広	高	20		速	強	強	中	中	高垣用、食餌植物	やや陰地に耐える
シンジュ	にがき科	落	広	高	15~25		速	強	中	中	中		別名ニワウルシ。中国原産、雌雄異株

樹種名	科名	常落	広針	高木低木	樹高	陰陽度	生長度	耐煙性	耐潮性	乾湿性	移植難易	機能的・美的特性	摘要
ジンチョウゲ	じんちょうげ科	常	広	低	1		遅	強	中	湿	難	花木(赤,白)	香木,若木の移植は易,花が白 いのはシロバナジンチョウ ゲ,中国,台湾原産,雌雄異株
スイカズラ	すいかずら科	半常	広				速	中	強	中	易	垣に絡ませる(20cm 間 隔植栽)花木地被(植栽密度 25本/m <sup>2</sup> )	
スギ	すぎ科	常	針	高	40		速	弱	中	湿	難	生垣,刈込物,食餌植物	幼樹耐陰性
ズカケノキ (プラタナス)	すずかけのき科	落	広	高	20~30		速	強	中	中	易		近縁にアメリカスズカケ,モ ミジバズカケあり,西アジ ア・ヨーロッパ原産
スダジイ	ぶな科	常	広	高	25		速	強	強	中	易	高垣,食餌植物	成木陽地に耐える,大木移植 可能
センダン	せんだん科	落	広	高	15		速	中	強	湿	中	縁陰樹,食餌植物	
ソテツ	そてつ科	常	針	高	3~8		遅	強	強	乾	易	装飾	本州中部では防寒,雌雄異株
ソメイヨシノ	ばら科	落	広	高	10		速	弱	弱	中	中	花木	大枝剪定は避ける
タイサンボク	もくれん科	常	広	高	20		中	中	強	中	中	花木	公園などで見るものにホソ バタイサンボクがある 北米南部原産
ツガ	まつ科	常	針	高	15		やや 遅		中	中	やや 難		生長はやや遅い,幼木は耐陰 性が強いが,成木は好陽
ツゲ	つげ科	常	広	高	5		遅	強	強	中	難	刈込物生垣,食餌植物	低木として用いる,陽光地に 耐える
ツルバラ	ばら科	落	蔓						中	中		花の大きさや色が豊富。パー ゴラやトレリス、アーチ、ボ ール(植栽密度1~2鉢/m <sup>2</sup> )	日当たりや風通しのよい肥 沃な土壌を必要とし,病虫害 も多いため管理に注意
トウカエデ	かえで科	落	広	高	15		速	強	中	中	易	生垣,紅葉	大気汚染に割合強い,中国原 産,雌雄異株
ドウダンツツジ	つつじ科	落	広	低	1~5		遅	中	弱	中	易	刈込物,生垣,花木(白),紅葉	半陰地にも可, ベニドウダン(赤花)あり
トウネズミモチ	もくせい科	常	広	高	8		速	強	強	中	易	花木,生垣	
トチノキ	とちのき科	落	広	高	25		速	中	中		難	花木(花色赤,白)	陽光地に耐える,花が赤い のはベニバナトチノキ
トベラ	とべら科	常	広	低	2~5		速	強	強	中	中	生垣,食餌植物	雌雄異株
ナツツタ	ぶどう科	落	蔓	/			速	強	強	乾	易	壁体に絡ませる,紅葉	別名ツタ
ナツツバキ	つばき科	落	広	高			速					花木	
ナリヒラダケ	いね科	竹		高			速	強	中	乾	中		
ナンキンハゼ	とうだいぐさ 科	落	広	高	15		速	中	強	湿	難		紅葉が美しい,水湿地に適す 中国原産
ナンテン	めぎ科	常	広	低	2~4		遅	中	中	湿	易	実物,生垣,食餌植物	シロナンテン,シナナンテン あり
ニセアカシア	まめ科	落	広	高	25		速	強	中	乾	易	花木	変種にトゲナシニセアカシ アあり,アメリカ原産
ネズミモチ	もくせい科	常	広	高	3~4		速	強	強	中	易	生垣,食餌植物	陽光地に耐える
ネムノキ	まめ科	落	広	高	10				中	中	易	花木(淡紅色)	樹齡は比較的短い 剪定を嫌う
ノウゼンカズラ	のうぜんかずら科	落	蔓				速				易	花木	中国原産
ハイバクシン	ひのき科	常	針	低	0.6		遅	中	強	乾	難	地被(高さ30~40cm), 飛砂防止	赤星病中間寄生, 流枝形とする
ハクチョウゲ	あかね科	常	広	低	0.6~1.0		中	中	弱	中	易	花木,生垣	雌雄異株
ハクモクレン	もくれん科	落	広	高	15		遅	中	中	中	難	花木	変種にサラサモクレンあり 中国中部原産
ハナミズキ (アメリカヤマボウ シ)	みずき科	落	広	低	5~10			弱			難	花木(花色白桃赤),紅葉,実 物	北米原産
ハマヒサカキ	つばき科	常	広	高	5		遅	強	強	中	易	生垣,刈込物	造園では低木として用いる ことが多い,雌雄異株,寒地性, 別名エルム
ハンノキ	かばのき科	落	広	高	10		速		中	湿	易	公園・緑地,水辺,砂防樹, 土留樹など。	砂防や肥料木として利用で きる,ヤマハンノキは乾燥地 に耐える
ヒイラギ	もくせい科	常	広	高	4~8		遅	強	強	中	壤易	生垣,刈込物,食餌植物	大木の移植可能,雌雄異株
ヒイラギナンテン	めぎ科	常	広	低	1.5~2.0		遅	強	中	湿	中		

樹種名	科名	常落	広針	高木低木	樹高	陰陽度	生長度	耐煙性	耐潮性	乾湿性	移植難易	機能的・美的特性	摘要
ヒイラギモクセイ	もくせい科	常	広	高	5		やや速	強	やや強	湿	易	生垣	ヒマラヤ,中国原産
ヒサカキ	つばき科	常	広	高	5		遅	強	強	中	易	生垣,刈込物,食餌植物	陽光地に耐える,造園では低木,雌雄異株,中国原産
ヒノキ	ひのき科	常	針	高	30		速	中	中	中	難	生垣,食餌植物	サワラより姿上品
ヒマラヤスギ	まつ科	常	針	高	40		速	中	中	中	中	刈込物	大木移植可能,肥沃地を好む インド・ヒマラヤ原産
ピラカンサ (タチバナモドキ)	ばら科	常	広	低	3		速	強	中	中	難	生垣,刈込物,実物(色は赤,黄),食餌植物	別名ピラカンサ,トキワサンザシ
ヒラドツツジ	つつじ科	常	広	低								花木(花色多し)	
フウ (タイワンフウ)	まんさく科	落	広	高	15		速		やや強	中	易	公園・緑地、庭園、工場、街路樹、景観樹、緑陰樹 紅葉	アメリカフウより耐寒性は劣る
フジ(ノダフジ)	まめ科	落	蔓				中	中	中	湿	易		
フヨウ	あおい科	落	広	低	1~3		速	強	強	湿	中	花木(花色赤桃白)	移植をきらう
ボケ	ばら科	落	広	低	1.5		速	強	中	中	中	刈込物,生垣,花木	変種にヒボケ,シロボケ,ヨトボケあり,花の色多し
マサキ	にしきぎ科	常	広	高	3~5		速	強	強	中	易	生垣,食餌植物	
マダケ	いね科	竹		高	10~18		速	中	中	乾	中		中国原産
マテバシイ	ぶな科	常	広	高	10		速	強	強	中	中	高垣,食餌植物	
マユミ	にしきぎ科	落	広	高	5		中	中	中	湿	易	実物	種子は紅色,雌雄異株
マンリョウ	やぶこうじ科	常	広	低	0.5~1.0		遅	強	中	湿	易	実特物,食餌植物	
ミヤギノハギ	まめ科	落	広	低	2		速	中	中	中	易	花木	傾斜面の土留用とする
ムクゲ	あおい科	落	広	低	2~5		速	強	中	湿	易	生垣,花木(花色多し)	陰地に耐える。中国原産
ムベ	あけび科	常	蔓				速	中	中	湿	易	アーチ,パーゴラ,垣根	やや耐潮性あり 陽当りに耐える
ムラサキシキブ	くまつぶら科	落	広	低	3~5		速	中	中	中	易	実物(紫)	白実のものがある
メタセコイヤ (アケボノスギ)	すぎ科	落	針	高	30		速	中	強	湿	易	緑陰	公園,学校などの記念樹, 中国原産
モウソウチク	いね科	竹		高	15~20		速	中	中	乾	中		中国原産
モチノキ	もちのき科	常	広	高	8		遅	強	強	中	易	生垣,食餌植物	陽光地に耐える 大木移植可能,雌雄異株
モッコク	つばき科	常	広	高	10~15		遅	強	強	中	中	生垣,刈込物,食餌植物	陽光地に耐える 大木移植可能,雌雄異株
モミ	まつ科	常	針	高	30~50		速	弱	中	乾	難		剪定をきらう 生長幼木遅く,壮木速い
ヤダケ	いね科	竹		高	2~5		速	強	中	乾	易		地下茎は遠くへ走らない。
ヤツデ	うこぎ科	常	広	低	2~3		速	強	強	中	易	食餌植物	大気汚染に強い
ヤブツバキ	つばき科	常	広	高	15		遅	強	強	中	難	花木(花色赤,白),生垣,食餌植物	園芸品種多し
ヤマザクラ	ばら科	落	広	高	10		速	弱	弱	中	難	花木	近縁にオオヤマザクラあり, 大枝剪定は避ける。
ヤマブキ	ばら科	落	広	低	2		速	中	中	湿	易	花木(黄,白)	変種にヤエヤマブキあり, 花が白いのシロヤマブキ
ヤマモモ	やまもも科	常	広	高	15			強	強	中	中		成木は陽樹,果樹,山取物あり, 肥料木,雌雄異株
ユキヤナギ	ばら科	落	広	低	1~1.5		速	強	強	中	易	花木	
ユリノキ	もくれん科	落	広	高	30		速	中	中	中	難		北米中部原産
ライラック (ムラサキハシドイ)	もくせい科	落	広	高	2~6		中	中	中	中	易	花木	半陰地にも生育,芳香,欧州原産
ラカンマキ	まき科	常	針	高	10		やや遅		強	中	中	日本庭園の代表的な重厚感のある主木、生垣	生長はイヌマキより遅く、寒さにやや弱い
ラクウショウ	すぎ科	落	針	高	25		速	中	弱	湿	易	緑陰,生垣	沼地など水湿地に適す,石灰岩地好む,北米南部原産
レンギョウ	もくせい科	落	広	低	3		速	中	中	中	易	花木	雌雄異株

